

市川マップの会と慶應義塾大学ホルヘ・アルマザン研究室の歩み

市川マップの会



(旧二葉屋酒造 市川マップの会ホームページより)

平成4年8月市川大門町の道祖神めぐりを始めました。同年8月「次世代に市川大門の伝統を伝承しよう。」をテーマに幹部会を結成し、市川マップの会が発足しました。
「市川大門散歩マップ」を作成するなど積極的な活動を行っています。
初代会長：一瀬八重子 発起人：5名

ホルヘ・アルマザン研究室



(ホルヘ・アルマザン研究室ホームページより)

慶應義塾大学理工学部に所属する研究室です。
当研究室では、建築計画と研究を複合的に扱いながら活動しています。建築計画では設計協議を実践の場とし、デザイン技術を磨く機会を設けています。また研究は、都市の公共空間、住居類型と都市形態、地方の都市持続可能性、という三つのテーマで進めています。

2013年5月



市川三郷町に関する調査

住民を対象としたインタビュー調査を実施しました。

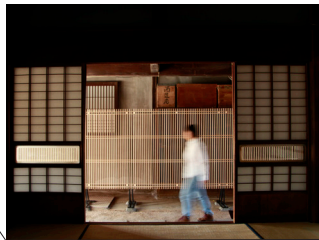
2013年12月



市川三郷とともに住む展

学生が町を良くするための提案を作成し、旧二葉屋酒造を会場に展示会を開催しました。

2014年6月



展示パネルの製作

旧二葉屋酒造にある文化品の展示の為に、展示パネルの製作をホルヘ・アルマザン研究室と合同で行いました。

2014年9月



蔵の実測調査

蔵の既存状態を記録した図面は現存していなかったため、学生が主体となって実測調査を行い、既存図面を制作しました。

2015年5月



酒蔵の改修 (基本設計ミーティング)

旧二葉屋の庭の酒蔵の改修の実施。市川マップの会と研究室で何回もミーティングを行い、設計を進めていきました。



酒蔵の改修 (製作ワークショップ)

蔵の清掃や腰板の塗装など、できることは学生と市川マップの会のメンバーで協力して自分たちの手で施工しました。

2015年12月



蔵舞台完成！

蔵の改修とともに、内部をギャラリーとして利用するだけでなく、舞台やカウンターも設置することで、講演会や演奏会ができる施設になりました。



竣工後 オープニングイベント

竣工を記念し、地域のまちづくり団体が主催するオープニングイベントを開催しました。